



# 室小だより

茅ヶ崎市立室田小学校

令和6年度 12月号

校長 村越 さゆり

学校教育目標

豊かな心を持ち、主体的・創造的に行動する子の育成  
～ やさしく かしこく たくましく ～

## 校外活動を通して

11月は、各クラスでじっくり学習に取り組むことができています。また、各学年で校外に出る活動も多かったです。1年生は生命の星地球博物館へ、3年生はズーラシアへバス遠足に行きました。4年生は茅ヶ崎市民文化会館で音楽会に出場しました。5年生は愛川ふれあいの村でのキャンプ活動を1泊2日で体験しました。子どもたちは、公共の場でマナーを守る体験を通して多くの成長も見られます。大人からの指示を聞き落としてしまうこともありますが、互いに声をかけ合って気づくことができています。こういった何気ない子どもたちのやり取りの積み重ねがあって、これまでの成長につながっていることを、共に過ごす中で感じております。みなさんは、子どもの成長をどんな場面で感じますか。感じた場面で、言葉にして伝えることで、子どもの気づき、そして自信という力に変化します。さらなるこどもの成長のために、みなさんの言葉でつないでいきましょう。

## 6年生の学力学習状況調査について

【国語】話すこと・聞くことの領域は全国平均を上回っており、書くこと・言葉の特徴や使い方に関する問題は、全国平均と同程度の結果を得ていました。一方で、読むこと・我が国の言語文化に関する問題や記述式の問題形式については課題が見られました。また、子どもたちは「国語の勉強は、社会に出たときに役に立つと思うか」という質問に「当てはまる」・「どちらかという当てはまる」と考える子どもが9割以上、反面「国語の勉強が好きですか」という質問に「当てはまる」・「どちらかという当てはまる」と考える子どもが半数以下と多いことが課題ではあります。

【算数】どの領域も全国平均と同程度の結果を得ることができました。数量の関係を、□を用いた式に表すことができた子どもが9割程度、図形領域で直方体の見取り図について理解し、書くことができた子どもが9割以上と良い結果でした。一方で、わる数が小数である場合のわり算について、計算問題やわる数と商の関係の理解についてと、直径22cmの球がぴったり入る箱の体積を求める図形の問題については課題が見られました。また、算数の勉強は大切だと思う子どもが9割以上、「算数の勉強が好きですか」という質問に「当てはまる」・「どちらかという当てはまる」と考える子どもが半数を越えました。「算数の授業の内容はよくわかりますか」に「当てはまらない」と答えた子どもが減少傾向にあります。

【質問紙】「当てはまる」・「どちらかという当てはまる」の割合が高い項目は、「朝食を食べている」や「毎日、同じくらいの時刻に起きている」が高く規則正しい生活が見受けられます。「自分にはいいところがある」が85%と高く、自己有用感が高いと思われます。「いじめはいけない」や「人の役に立つ人間になりたい」が多く規範意識が高いこともわかりました。「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」が9割以上と高く、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」、「人が困っているときには、進んで助けている」、「『タブレットの使用について』」、「分からないことがあったときにすぐに調べることができる」や「友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」という項目について肯定的に捉える割合が高いこともわかりました。「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」に課題が見られました。

引き続き学校全体で取り組みを継続していきたいと考えます。